

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
49	拓殖大学	タイの歴史と文化	甲斐 信好	2	後期	金	13	11:15～13:00	拓殖大学 八王子国際キャンパス	若干名

【授業の目的及び到達目標】

「タイを学ぶ、タイから学ぶ」タイの歴史と文化についての理解をしっかりと深めることが目的です。1990年以降、タイとそれを取り巻く環境は大きく変わりました。その中で歴史と文化の変遷を時系列で覚えるだけでなく「どうしてそうなったのか」を考える力を持つことを到達目標とします。

【授業内容】

1. オリエンテーションとタイについて…本授業の目標、内容や進め方、成績評価の方法などを説明します。また講師とタイとの関係についても、現在の研究テーマとして解説します。後半ではタイという国について皆さんとの関りや一般的な情報をお伝えします。
2. タイ概観…タイを知るための2大キーワードは「仏教」と「国王」だと言われます。タイの人々の日常生活を支配する文化規範はこの2つから来ています。そして周辺国との現在の関係など地誌的解説します。
3. タイの歴史Ⅰ…教科書第1章「タイ族国家の勃興 古代16世紀後半」を中心として解説します。
4. タイの歴史Ⅱ…教科書第2章「マンダラ型国家の隆盛」を中心として解説します。
5. タイの文化Ⅰ…教科書コラム「王室—比類なき存在感」を中心として解説します。一部最新の動向を補足説明します。
6. タイの文化Ⅱ…タイを知るためには、タイ映画が一番だと思います。世界的なヒットとなったタイ映画の中からいくつかを紹介します。
7. タイの歴史Ⅲ…教科書第3章「領域国家の形成」を中心として解説します。
8. タイの歴史Ⅳ…教科書第4章「シャムからタイへ」を中心として解説します。
9. タイの文化Ⅲ…教科書コラム「日本との関係～知られざる日本人」と別途資料を中心として解説します。
10. タイの歴史Ⅴ…教科書第5章「国民国家の強化」を中心として解説します。
11. タイの歴史Ⅵ…教科書第6章「先進国を目指して 1990年代以降」を中心として解説します。一部最新の動向を補足説明します。
12. タイの歴史Ⅶ「現在のタイ」…タイは1932年の「立憲革命」以来、クーデターの絶えない国です。なぜそのようなことが起こるのか、講師が体験した2014年クーデターの話も交えながら解説します。2020年に巻き起こったタイの学生運動は、それまでタブーとされていた「王室批判」を含むものでした。現在の状況も含め皆さんと考えたいと思います。
13. 授業中試験と補足説明…現在進行形で続く学生運動を、世代の観点からも解説します（前回と同じく「タイの政治と経済」の内容紹介でもあります）。授業中試験を実施します。終了後、補足説明をすることがあります。

【授業の方法】

【対面授業】地域研究とは①言語を知ること②地域への理解③生活の体験の三本柱からなると考えます。そのため①サバイバルタイ語②テキストを中心とした講義③体験の代わりとなるタイ映画の紹介を考えています。

【予習・復習】

予習として教科書の該当部分を読んでください（30分程度）。タイの最新情報をVTRも交えて多数紹介します。復習として精力的に最新情報に取り組んでください（60分程度）。

【成績評価の方法】

成績は最終試験60%、レポートと授業への積極的参加（議論を含む）40%で評価します。

「Blackboard」の「掲示板」に質問コーナーを設けます。課題について質問があればいつでもどうぞ。フィードバックは「Blackboard」の活用等のほか、授業時間中に常に行います。

【教科書・参考書】

教科書：柿崎一郎 著「物語タイの歴史—微笑みの国の真実」（中公新書1913）2007年を購入して下さい。

参考書：随時補足資料を配布します。また参考書籍、Webサイトなどを紹介します。

※ この授業は、9/30（金）が初回です。